

2010-2011 夏期YCE派遣 帰国報告

鹿屋LC 西 瑠也

この度は、貴重な体験をする機会を与えていただき、ありがとうございました。今回、その報告させていただきます。

私は、7月21日～8月17日の期間、シンガポールおよびマレーシアに伺いました。この海外滞在期間中に、5つのホストファミリーにお世話になることになり、様々な体験を通して、言葉の違いもさることながら、生活様式などの文化の違いに驚かされる日々を送りました。また多くの方々とも知り合うことができ、友人もたくさんつくって帰国しました。ここで、私の海外滞在期間中の日記の一部を振り返りたいと思います。

- ・7月21日。シンガポールに到着後、ウェルカムパーティに参加。食事を頂いた。何を話しているか全く分からなかった。授業で話す英語とは明らかにイントネーションが異なっていたが、自分たちで話す英語は通じた。夜が真昼のように蒸し暑かった。緑茶は甘い。現地ではキク茶が主流。
- ・7月22日。食事は少しくせがあった。
- ・7月23日。学校では音楽の授業が多かった。
- ・7月24日。マレーシアのショッピングセンターやビーチのトイレにはティッシュがない。水だけ。肉料理が中心で、スパイスが効いているから水をよく飲む。ピザにパイナップルが入っていた。日本のことについて説明することがかなり難しかった。
- ・7月25日。マレーシアでは第1朝食、第2朝食、昼食、ティータイム、夕食、サパーの6食。手羽先、手羽元の料理（揚げ物）が定番。
- ・7月26日。COW注意の標識がある。今日で第1ホームステイが終了した。
- ・7月27日。カカオは5年間実をつけずに栽培し、その後、実に10年かけて収穫する。
- ・7月29日。マレーシアの学生は日本のアニメが好きで、日本語の挨拶とお礼、別れの言葉は話せる。プールは徐々に深くなっていく（最大約4～5m）
- ・7月31日。サピ島の水はきれいだった。バナナボートは過激であった。今日で第2ホームステイが終了した。
- ・8月3日。大学はパソコンがかなり多くあった。蚊を寄せつけない草（花）があった。
- ・8月4日。散髪代は約450円。
- ・8月5日。図書館の本の一部は、現地レオクラブがリサイクル活動を行って生まれたものもある。植林活動を行っている。タツノオトシゴがいたるところにあるが有名ではない。今日で第3ホームステイが終了するが、これまでのなかでMiriが一番よかった。
- ・8月6日。屋台にもドリアンがある。
- ・8月8日。イスラム教徒の人は、この一ヶ月、食事（水）を日中摂ることはできない。バナナは、揚げ物専用のものもある。ザクロは種も食べる。

- ・ 8月11日。今日で第4ホームステイが終了。
- ・ 8月12日。ドリアンアイスも厳しい。タコがすごい。キーホルダーが安い。
- ・ 8月13日。ウーロン茶だけがノンシュガー。プリクラは約1000円~1200円（日本製）。
- ・ 8月15日。学校は、毎日終わる時間が決まっていない。1コマ1時間の授業で、毎日何コマになるか異なる。Public school だが、私立並みのきれいさ。シンガポールの人は言語を最低3つは話せる（英語、中国語、カントン語）。多い人はさらに3つ（日本語、北京語、マレー語）。
- ・ 8月17日。トイレはお金が必要。
- ・ 8月18日。帰途。

私は生まれて初めての海外ということもあり、「憧れ」を抱いて今回のYCE派遣に参加をしました。確かにきれいだな、素晴らしいなと思うこともありましたが、一方で、日記に記したように、不便だな、大変だなと感じることも多く、改めてそれぞれの国の違いやよさを実感することができたような気がします。

最後に、この期間、様々なボランティア活動も拝見・参加することができ、今後の私たちの活動に十分参考になるものであったのは当然のこと、大変刺激を頂いてまいりました。私の高校生活は残り半年余りですが、今回学ばせていただいたことをもとに、勉強やスポーツ、ボランティア活動などに精一杯頑張っていきたいと思います。

